

第3学年 学年便り

【1学期を振り返って】

3年生のみなさん、1学期お疲れ様でした。コロナ禍の中、登美高の最上級生として後輩の良き手本として学校生活を送れましたか。みなさん一人ひとり1学期の自己評価をして、2学期に向かってください。

また、クラスの雰囲気はどうでしたか。お互いを高め合える環境でしたか。励まし合えて、頑張る友の背中を見ることで力の湧いてくる、そんなクラスならどんどん自分を伸ばしていけそうですね。これからも今以上に「ホッとできて、元気になれる」クラスを、みんなで力を合わせてつくっていきましょう。

いよいよ暑い夏の到来です。熱中症予防など健康面に気をつけて卒業後の進路に悔いを残さないように、8月いっぱいを精一杯に張ってください。

【夏休みの過ごし方】

この夏はみなさんの進路実現に向けての正念場です。自分のこれからの人生を力強く切り拓いて行ってください。就職・公務員希望の人は、試験勉強だけでなく小論文対策・面接対策のためにも、新聞をよく読んで時事問題に強くなっておきましょう。各種専門学校を志望している人は、受験対策+専門分野についての予備知識をしっかりと身につけるように心がけてください。実力養成講座には、多くの人が申し込みをしています。誰にとっても大切な時間です。遅刻で講座を中断させることの無いように、時間をしっかり守って有意義な講座にしていってください。

さて、受験生にとって大切なことの一つに健康管理があります。自宅学習・学校での講座や自習、そして塾や予備校での勉強など、さまざまな形で勉強をしますが、生活リズムを崩さないようにして健康管理に努めてください。まだまだ長い受験期間を乗り切るには気力・体力が重要です。事故にも気をつけて、2学期に元気な顔を見せてください。

2020 この夏のキーワードは、「量」と「反復」、 そして「演習→質問」だ！

【以前の進路講演会より】

以前、夏休み前に河合塾の畑中幸治朗先生をお招きして進路講演会が行われた時に、とてもいいお話を伺いました。ここに少し内容をお伝えします。

1. 『大学入試に現役合格するタイプとは？』

大学入試に現役合格するタイプは次の3つをバランスよく持っている。

- ①やる気のあるタイプ
- ②志望大学がきまっているタイプ
- ③正しい努力をしているタイプ（同じ間違いを繰り返さないタイプ）

◎同じ間違いを繰り返さないためには、模試をすぐにやり直し、解説書をよく読んで弱点克服の努力をする事が大切です。

△正しい努力をしているとは言えないタイプとは、例えば…

- ・教室で自習はしているが、だらだら喋ったりして集中できていない。
- ・塾に行っていることで何となく勉強しているように錯覚し、その実、学校の授業についていけない、といった人だそうです。

2. 『この夏の勉強方法のポイント』

【もうこれ以上勉強できない、がキーワード】

- ①夏に勉強できる時間を計算する。
1日に、食事2時間、風呂1時間、トイレ1時間、睡眠7時間、+α1時間、とすると、残り12時間が勉強時間となる。
- ②教科により勉強の仕方を変える。
・文系科目→繰り返し学習
・理系科目→演習をする、分からなければ→質問
- ③薄い問題集1冊を3回。
- ④キーワードは繰り返すこと。
- ⑤模試で現在の学力を把握し、志望大学までの距離をつかむ。
・DE判定は当たり前。この夏「もうこれ以上勉強できない」というぐらい頑張つて、9月、10月の模試で成績が上がることを、今は楽しみにしよう！
・模試を受験することにより、総合偏差値は2UPする。
あやふやなところ、間違ったところを、その日すぐにやり直す。そのようにして、今後、5回模試を受ければ偏差値が10上がる。

以上、畑中先生のお話でした。内容を思いっきりまとめてみると、この夏のキーワードは、

- ①勉強は「量」が大事
- ②文系科目は「繰り返し」、理系科目は「演習→質問」です。

みなさん3年生全員が黙々とひたむきにこのキーワードで頑張り、第1志望校の合格を勝ち取ることを期待しています。